



パンフレットのツアーNo. をクリック (タップ) すると、  
**該当ツアーの申し込み画面**に移動できます。

らくらく直行便利利用! 同ホテルに2連泊! **奄美に魅せられた日本画家 田中一村と描いたであろう景色 金作原原生林(東洋のガラパゴス)を訪ねて** **15名様限定**

日本のゴッガンと称される画家・田中一村(1908年~77年)。2018年に生誕110年を迎え、佐川美術館や岡田美術館にて大規模な展覧会が開催され、またパリの日本博「ジャポニスム2018」では一村の作品が海外で初公開されました。50歳で奄美大島に移住し、69歳で亡くなるまで、亜熱帯の動植物など奄美の風物を描き続け、独特の世界をつくりあげました。画材を手に入れるために、大島紬の染色工として働くなど、経済的に厳しさを極めながらも、質素な暮らしをかえて画作の糧としました。そんな、一村を魅了した奄美の風土や自然を訪ねる島旅をお楽しみいただけます。



■旅行期間 3月26日(金)~28日(日) ■ツアーNo.210142

■旅行代金  
 大人お一人様 **108,000円** (シングルルーム利用)  
 \*ツインルームはリクエストとなります。

■食事 朝食2回、昼食3回、夕食2回  
 \*1日目の昼食は奄美パークにてお弁当をご用意致します

■発着場所・集合時間 **伊丹空港 9:20頃集合**

■宿泊 「ホテルビッグマリン奄美」(バストイレ付き)  
 \*1名様1室ご利用。(シングルルームはオーシャンビューはございません。予め、ご了承ください。)or2名様1室ご利用。



金作原原生林(ガイド付きツアー)



ヒカゲヘゴヤクワズイモなど田中一村が見て描いたであろう景色を探しに行きます。



田中一村終焉の家(ここに移り住んだ一村は御殿のようだと聞いてとても喜び、新たな創作意欲をもやしたといわれている)



西郷南洲流謫跡は西郷隆盛の奄美3番目の住居として知られる。島で祝言を挙げ夫婦となった愛加那と、三人の長男・菊次郎のために、台風の当たらない土地を探し回り、自ら設計もしたという。入り口にある碑は勝海舟の書によるもの。

日程	スケジュール	食事
1	伊丹空港(10:20)発⇒(JAL2465便)⇒奄美空港(12:05)着=奄美パーク(約2時間30分滞在)(昼食=田中一村美術館(奄美の自然を描いた日本画家田中一村コレクションを常設展示する美術館)=大島紬村(田中一村は50歳で奄美に渡り、大島紬の染工として働いていました。こちらでは、全工程を間近で見ることができます。)=名瀬市(泊) 17:30頃着	昼 夕
2	ホテル8:10頃出発=金作原原生林散策(田中一村が描いた奄美の景色を探しに平坦な道を約3kmガイド付きで散策します。)=(昼食)=浜千鳥館(黒糖焼酎工場見学・試飲)=西郷南洲流謫跡(西郷隆盛が幕府から身を守るために3年間暮らしていた家)=龍郷町安木矢場(ソテツ・バショウ群生地)=田中一村終焉の家(田中一村が69歳で最期を迎えた地)=名瀬市(泊)	朝 昼 夕
3	ホテル=(約35分)=奄美リゾートホテルティダムーン(ホテル1階回廊では、田中一村の作品が展示・早めの昼食)=奄美空港(13:00)発⇒(JAL2464便)⇒伊丹空港(14:30)着(到着後、解散)	朝 昼

●現地の諸事情により旅行内容や行程が変更になる場合があります。

■2日目は午前:現地ガイド、午後:バスガイド付き ■最少催行人員:10名

お電話・FAX でのお申し込み・お問い合わせは



**06-6644-7900**



**06-6644-6400**

営業時間：平日 9:30 ~ 17:30 (土日祝・年末年始を除く)